

# 第1回こどもの権利推進リーダー会議の実施結果について

実施日 令和7年1月24日(金) 18時から19時30分まで

会場 文京シビックセンター26階 スカイホール

## 1 参加者

こどもの権利推進リーダーとして、59人の中高生が参加した。参加者の内訳は次のとおり

	中学1年生	中学2年生	中学3年生	高校1年生	高校2年生	合計
人数	4人	2人	3人	16	34	59人
割合	6.8%	3.4%	5.1%	27.1%	57.6%	100.0%

## 2 内容

(1) 特別講演 「こどもの権利を条例にいかす」

東洋大学名誉教授 森田 明美氏

(2) 意見交換 1テーブル6人程度で10グループに分かれて、意見交換を行った。

テーマ1 本日の講演を聴いて感じたこと、考えたこと

テーマ2 参加の動機、リーダー会議に期待すること、リーダーとしての意気込み

※各グループの記録については、東洋大学の学生にご協力いただいた。

## 3 当日の様子

定員を大きく上回る応募があり、グループ形式としては満席に近い形での開催となった。

特別講演を熱心に聴いたり、グループで積極的に意見交換する参加者の姿が印象的で、

今後の取組への強い熱意が感じられた。

## 4 参加者の意見

本日の講演を聴いて、感じたこと考えたこと

- 1 知らなかったことがほとんどで、学ぶことしかなかった。
- 2 いい意味で「面白い」と感じた。
- 3 50年前ぐらいからあるものだと思っていたので、条約や法律が制定されたのが思ったより最近で驚いた。
- 4 こどもが意見できるということを知らなかった。意見できると知って安心した。
- 5 支援金という言葉が講義の中でたくさん出てきたのが気になった。そのお金はどこから来るのだろう。
- 6 条約の内容を知らないと考えることもできない。もっと詳しく知りたい。
- 7 条例の制定やこどもの権利など具体的にはよくわからなかったが、こういった会議を通じて学びながらより良いものを作っていきたいと感じた。



### リーダーの掟 (会議でのルールとマナー)

一つ 恥ずかしがらず、積極的に意見を言おう

何を話しても間違いなんてない。まとまってなくても OK

一つ 他の人の意見は、さえぎらず、否定せず、しっかりと聴こう

もの見方、考え方はひとそれぞれ、自分と違うものこそ尊いものです。

一つ ここで聞いたことは、ここだけの秘密にする

相手の個人的なことはむやみに聞かない。ほかで話さない。

8	人権はもともとあるもので、権利は私たち自身が守っていくものという人権と権利の違いを初めて知った。
9	条例の当事者が自分たちであることを認識した。また、自分たちだからこそ権利を守っていき、条例が制定した後はこの条例が広く普及できるように頑張りたい。
10	条例の制定は前文など具体的に示していくのが大変だなと感じた。条例には皆が「守ってほしいこと」を取り入れたいと感じた。
11	権利というのは持つものが守っていくものというのを初めて知ったので、我々で権利を守っていきたいと感じた。
12	世界や文京区でどんな事に取り組んでいたのか知らなかったため、我々こどもの権利など私たちのことを考えてくれていることに驚いた。こどもは「今を生きる存在」ということを広めていきたい。
13	難しい。
14	子どもの権利条約で、自身も当事者だけど、まだまだ知らないことがあった。もっと広報を工夫させたい。
15	これからもっと学んでいきたい。
16	具体的にどうしたいかがつかめていない。
17	日本も遅れている方なので今後もっと工夫を…
18	最初は分からなかったけど、こどものための権利がたくさんあるのを知れてよかった。
19	分かりにくかった部分もあるし、今後条例をどう組み立てていくのかも少し不安…
20	私立の高校のため、元々こどもの権利について学んでいた。しかし、学校によって権利についての勉強に格差がある。そのため、全員が勉強する機会が必要と考えた。
21	今回の講義を聞いて、自分たちの手で世の中は変えることができると知り、やる気が湧いた。
22	自分の住んでいる足立区には、まだこどもの権利条例が無いことを知った。また、自分自身が来年こども(18歳になるため)でなくなることに驚いた。
23	自分自身、こどもの権利について知らなかった。周りにも知っている人は少なかった。そのため認知度を上げる必要があると考えた。
24	何も知らずに参加したが、今回の講義を聞いて子どもの権利条約とはすごいものなのだと感じた。
25	自分が通っている中学は荒れており、ドアを破壊する生徒もいる。他の生徒から見てその生徒は「元気」という印象を持ったが、先生からは暴れん坊と見られていた。このことから、大人は先入観や偏見が強いのではないかと考えた。偏見を持つことを変えたい。
26	こどもというワードからもっと簡単かと思っていたが、難しかった。ヤングケアラーが気になった。
27	今の自分はあたり前ではない。活動を通してもっとこどもの権利を知りたい。
28	日本は平和だから、こどもの権利の普及が遅いのではないかと考えた。もっと考えていくべき。
29	何も知らないまま参加した。先生の熱意や自分の知らない所で進んでいることを感じた。地方(出身地)には行き届いていない。
30	学校の教育に関して東京は進んでいるイメージがあったけどまだ不十分である(埼玉出身)。
31	埼玉(出身地)ではこどもの権利について聞いたことがなかったため驚いた。
32	全体的に話が難しく、何を言っているかまいちよくわからなかった。
33	こどもも権利は元々持っているため、行き届いていないことが問題なのではないか。
34	世間でも女性の権利がよく話題になっている。
35	先生の講義で言いたかったのは、困っている人を助けようということだったんじゃないかなと思った。
36	こどもが参加できるようにというけれど、私たちみたいに生活に余裕のある人たちではなく、本当の当事者に意見を聞きたい。しかし、彼らは時間的余裕もないし、学校にも行けていないかもしれないので、ヒアリングする時間をとることは難しいだろう。

37	自分がヤングケアラーだと気が付いていない人も多いのではないか(それをあたりまえ、普通のことだと思っている)。そんな人に、それはあたりまえなことじゃないよ、自分を犠牲にする必要はないよと伝えたい。
38	解決策として、昔ヤングケアラーだった人にヒアリングするのはどうか。
39	こどもに情報を届けるには、発信力を上げてほしい。TikTokやYoutubeでインフルエンサーに広めてもらうのがやはり若者には一番有効なのではないか。 理由：ホームページを見ないから。難しい話も伝える人次第では聞く耳を持つとする。 例：quizknockとコラボ。普段小学～高校生が見ているインフルエンサーに。
40	「主体性」、「発揮する力」という言葉の定義を具体的に示してほしい。なんのことかわからない。
41	条例を作った後にどう広めるか、何が改正されたのかについてをどう発信するのか。
42	こどもに関心を持たせられるかが大事になってくる。
43	東京都がこどもの権利のついで取り組みをしていることを知らなかったが、このような取り組みをされていることが嬉しい。
44	東京都に住む人は学費免除など多くの制度があって羨ましい。特に、千葉県・茨城県・埼玉県から東京都の私立高校に通っているため金銭面で格差を感じる。
45	東京都内でも格差(地域差)を感じる。その格差を埋める援助が欲しい。
46	「学ぶ」行為は全員同じため、平等であってほしい。
47	私立学校や大学に通わせている親が学費のことで嘆いている声を耳にする。
48	国立、公立などで設備が異なり、もう少し新しい設備にしてほしい。
49	私立(大学附属)に通っている中高生は、設備が整っていても格差を感じる。特に、大学生のみエレベーターが使用可能など。
50	茨城県つくば市では医療費が安い学費免除などは手厚くない。自分の県のことは知っているが他の地域の制度についてあまり知らないと感じた。
51	都内だとリーダー会議のように学びの機会が多いと感じる。
52	交通の便利さによって学習の機会が限られると感じる。ZOOMなどオンラインで学びの機会が増加したことはありがたい。
53	権利を主張するには、ある程度学校でも規律を守るようにするべきだと思う。
54	地域レベルでのこのような活動は初めて知った。取り組みに地域差が生まれないようにするべき。
55	日本のこどもの権利の取り組みが遅かったのが驚きだった。奨学金など大事なものに関わるので頑張りたい。
56	こどもの権利は当事者である私たちが知っておくべきだと思う。
57	こどもが幸せになるためにどうできるか真剣に向き合いたい。幸せの基準も個人で違うはずだからそれも視野に入れたい。
58	大人が決めるのではなく、当事者の私たちが決められることだからありがたいと思う。
59	こどもの権利について詳しく知らなかった。
60	こどもの権利について初めて知った。
61	産まれてからのケアはとても多いが、中高大と上に行くにつれて徐々にケアが減っていることに不満を感じる。これからの事だからケアを増やしてほしい。留学に行きたいから支援をしてほしい。
62	親とこどもの権利などについて話す中で、権利を主張したら、こどもとしての義務を果たせと親から言われた子がいるらしい。こどもの義務とは何かを知りたい。
63	千葉に住んでいる子が、東京の高校の授業料無償化などが不平等だと言っていた。自分の地域の千葉だけでなく他県のことも含めて言っていた。
64	部活動をやっている中で遠征などの支援をしてほしいという不満や願望を感じている子がいた。
65	こどもの漢字の意味を知らなかったなので、今回知ってひらがなで書くようにしたいと思った。

66	学校の授業で様々な権利について学ぶ機会があるが、学んでも忘れてしまうことが多いし、活かすことができていないので、今回のような活かす機会があってよかった。
67	子どもにとって自分の意見を言っていっていいと言ってくれる機会はとても重要だと感じた。
68	子どもの権利条約は漢字を使い過ぎだと感じた。
69	親と子どもの関係は密接で、親が子どもに与える影響はとても大きいのだと感じた。
	今回参加した動機、この会議に期待すること、子どもの権利推進リーダーとしての意気込み
1	「子ども」と関わるのが好きで、特に教育系に興味があり今回参加した。自分たち高校生は、大人よりも子どもの時のことを覚えているし、気持ちがわかる気がする。その中高生だからこそわかる子どもの気持ちを条例の中にもうまく入れていきたい。
2	「条約」に興味があり、身近にヤングケアラーがいたこともあり、今回の会議に興味を湧いた。他学校や他学年とこのような話をできる機会はなかなかないため、みんなからも学んでいきたい。
3	告知を見て単純に気になって参加した。他学校や他学年の人々と話す機会があまりないため、同世代とかかわって出る意見を大切にしていきたい。
4	政治や「条約」に興味があり参加した。他校の人と話して様々な意見を知っていきたい。
5	「子ども」に興味があって参加した。みんなの意見を聞きつつ、今回の会議で自分の考えをより深めていきたい。
6	「子ども」より「条約」に興味があって参加した。今回の講義でも知らないことばかりで学ぶことしかなかったため、会議を通して学びを深めていきたい。
7	条例を制定するという経験したことがない事をするということに魅力を感じたため参加した。実際に皆で条例を制定していきたい。
8	条例を制定する事に興味があった。この機会を大学受験に生かしたいと考えて参加した。条例や子どもの権利など具体的には知らないためこの会議を通じて理解を深めたい。
9	元々法についての興味があったため参加した。ただ条例を制定するのではなく、作った条例が広く普及できるように頑張りたい。
10	今回のリーダー会議の前に行われた中学生サミットに参加した際に、興味を持つようになったため参加した。皆でより良い条例を制定していきたい。
11	条例は中々触れる機会が少なく、あまり多くの事を知らないため、この会議を通じて学んでいきたいと考えて参加した。こういった新しいことを知ることで、自身が成長できるように積極的に自分の意見を発信していきたい。
12	先生から興味があるのなら参加してきたらと促されて参加してみようと思った。実際に条例を制定していくので、文京区から変えていきたい。いずれはアフリカなど世界中に子どもの権利を普及できるように頑張りたい。
13	案内を見て、自分達の意見をしっかり考えて、伝えられる場に参加してみたくて参加を決めた。自分達がより当事者意識をもって考えられるようにしたい。
14	条例文を考えて作ってみたいと思い参加。しっかり参加して意見を出していきたい。
15	法や子どもについて関心があって、もっとくわしく知りたいと思い参加。子ども全体に知ってもらえるようにがんばりたい。
16	中学生サミットに参加した際に案内を見て参加。権利条約について知って、自身が説明できるようにしたい。
17	進路を考える際に法に興味があって、そうした「法」がどう設立されていくかに興味があったため参加。自身が権利条約などについてくわしく説明できるようにしたい。
18	学校での案内をみて参加。加えて、法についてももっとくわしく学んでみたく、参加を決意。
19	父親が文京区のボランティアに携わっており、誘われた。子どもの権利を確立していきたい。
20	何も知らずに参加を決意。期待することは特になし。
21	部活動もなかったため、何かに参加したいと思っていた。子どもたちの役に立てるように頑張りたい。
22	学校の先生が紹介しており、せっかくならチャレンジしてみたいと思い参加を決意。自分自身、もう子どもではなくなるけれど頑張っていきたい。
23	母親に誘われて参加を決意。自分自身が虐待もどきを受けていたので、そのような思いをする人を減らしていきたい。

24	自分自身が生徒会に所属しているため、参加を決意。これからも意見交換とディスカッションを大切にしていきたい。
25	自分の家庭環境がいいことで守られる権利がある。環境が与える影響について考えたい。
26	将来、こどもに関する仕事をしたい。自由にのびのび育つにはどうしたらいいのか考えたい。
27	自分にも関することだから知りたい。
28	もっとこの分野に詳しくなりたい。
29	法や政治に興味がある。
30	こどもの権利が何なのか気になった。日常での経験を振り返りたい。
31	自分たちが関わってどれだけ変わるのか、つくる側として結果を見届けたい。
32	他の高校生たちと話し合っって考えを深めたい。
33	もっとこどもの権利が広まってほしい。
34	自分たちの行動が誰かのためになってほしい。
35	みんなで集まっていいものをつくりたい。
36	これからを生きるこどもたちが生きやすくなるようなものをつくりたい。
37	友達に誘われた。学んでこなかった分野だし、知るきっかけになるなと思い参加した。
38	将来、法律に関わる職業に就きたいと考えているため、参加した。
39	親に申し込まれたため参加した。
40	高校で配布されたチラシをきっかけに興味を持ち応募した。
41	友達と共に応募を決意し、法律や権利に興味があった。多くの友達を作る機会にしたい。
42	親から、大学受験の際のアピールポイントになると言われ応募を決意(半強制的であったが、実際参加して楽しいと感じた。)。法律に興味がある。思いを素早く簡潔にまとめることが苦手だが、そんな自分を変える機会にしたい。
43	親から、大学受験の際のアピールポイントになると言われ応募を決意。身近に障がいをもつ友人がおり、学習環境に差があることに疑問を持ち深く理解したいと考えている。全ての人の権利・支えることについて詳しく知り、平等かつ公平な世の中を作りたい。
44	大学で観光について学習したいと考えており、観光には多くの法律が関わるため理解する必要があると考えたため。埼玉県三郷市でも別のリーダー会議への参加経験があるため、そこで学んだことを生かして取り組みたい。学ぶ場所の違いや価値観の多様性を大切にしていきたい。
45	ここでの経験は大学進学後も生かせると思ったから。
46	自分たちの考えを反映できるから。
47	こどもの権利について知りたいと思ったから。
48	将来国連で女性の権利を守ることに携わりたい。これが将来の夢への第一歩として貴重な経験になると思った。
49	自分たちが当事者として関われるから。
50	選挙権がまだない中で、政策決定に関われる良い機会になると思ったから。
51	自分の意見を上手に表明できるようになりたい。
52	学校で服装などのルールを守らない人が多いから、ルールに従ってもらえるように頑張りたい。
53	どんなことを反映させるべきか理解を深めたい。

54	私たちの生の意見を反映させること。
55	この機会はならではの雰囲気があるので、発言を頑張りたい。
56	私たちの意見を反映したい。
57	友達に誘われたから。
58	権利を深く知りたいから。
59	法律に興味があるから。
60	おもしろそうだったから。
61	近くに住んでいてこのような別の活動にも参加しているから。
62	こどもと関わる・寄り添う仕事を将来考えているから。
63	高校の授業(探求)でSDGsを学びそこから調べて参加した。
64	多くの人に知る機会が増えてほしい。
65	講義内のビデオを実際に学校でも流して欲しい。
66	こどもの権利が広まってほしい。
67	こどもの権利を広めていきたい。
68	政治に興味があり、政治についてのイベントで、このイベントをすすめられた。
69	生徒会で先生におすすめられたから。自分の学校で何か活かせることが吸収できたらいい。
70	子どもの権利条約について様々な人としゃべってみたかったから。
71	福祉に興味があって、学校から外れたコミュニティでも自分は話せるのか知りたかったから。
72	他の人の意見を聞くことができる場は貴重だと思い、参加した。